

【毎事業年度初めの3ヶ月以内に提出する書類及び書式例】

特定非営利活動法人は、情報公開のため、毎年1回、前事業年度の事業報告書等を所轄庁に提出しなければなりません。所轄庁は、これらの書類（過去3年間に提出を受けたもの）を一般に公開しなければなりません。（法第29条、条例第7条、第8条）

また、特定非営利活動法人は、これらの事業報告書等を、翌々事業年度の末日まで主たる事務所に備え置き、社員その他の利害関係人から閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、閲覧させなければなりません。（法第28条）

提出書類	提出部数
事業報告書等提出書（別記第5号様式の2）	1部
事業報告書	3部
財産目録	3部
貸借対照表	3部
収支計算書	3部
前事業年度の役員名簿（前事業年度において役員であった者の氏名及び住所又は居所並びに各役員についての報酬の有無を記載した名簿）	3部
前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿	3部
記載事項に変更があった定款 （注）前事業年度において定款の記載事項に変更があった場合に限り、提出する。	3部
定款の変更に係る認証に関する書類の写し （注）前事業年度において定款の変更の認証を受けた場合に限り、提出する。	3部
定款の変更に係る登記に関する書類の写し （注）前事業年度において定款の変更により登記事項に変更があった場合に限り、提出する。	3部

※この法では、NPO法人は、自らに関する情報をできるだけ公開することによって市民の信頼を得て、市民によって育てられていくべきという考えがとられています。

事業報告書等は、法人の活動、会計等が、ルールに則って適正に行われていることを、広く一般に公開するためにも必要なものです。

作成にあたっては、書類間の整合性や、前々事業年度の報告書等との整合性について、十分注意してください。

- 例）・「定款」の事業、「事業報告書等」の事業
- ・「財産目録」、「貸借対照表」、「収支計算書」間の正味財産額（収支計算書に正味財産増減の部を設けない場合で、収支差額と正味財産とが一致しない場合は、注記等によって、収支計算書と貸借対照表の関連が明らかになるように記載する。）

.....
 登記事項（資産の総額）の変更を伴う場合は、事業年度終了後2ヶ月以内に、登記が必要です。

手続きについての詳細は、管轄の法務局へお問い合わせください。.....

年 月 日

北海道知事 様

特定非営利活動法人の名称 北海道こんぶ研究会
代表者の氏名 四ツ倉 典滋 印
電話番号 011-706-7305

事業報告書等提出書

次に掲げる前事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の財産目録
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の収支計算書
- 5 前事業年度の役員名簿
- 6 前事業年度の社員のうち10人以上の者の氏名(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)及び住所又は居所を記載した書面
- 7 記載事項に変更があった定款
- 8 定款の変更に係る認証に関する書類の写し
- 9 定款の変更に係る登記に関する書類の写し

平成20年度事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

1 事業の成果

今期は、設立後の活動拡充期間と位置づけて活動してきた。そのなかで、啓蒙、PR活動を積極的に行ってきた。今年度は、子供向けに利尻町でのこんぶ観察会や、水産関係者が多い道南の森町でのフォーラムを開くなど幅広い層に啓蒙活動を行った。また、培養庫を助成金で取得したことにより、こんぶ種苗の保存が可能となり、各地のこんぶを採取し、保存株として培養庫に保存した。これを用いてこんぶ生育環境改善事業として海中植林試験を開始した。さらに活用研究事業として、保存株から育成したこんぶ種苗を使って陸上養殖を行う協力企業を発掘し、陸上養殖こんぶ生産事業を始動した。これらの活動によって、本会への北海道民の認知、また、こんぶの置かれている環境や諸問題等への北海道民の認知がさらに高まってきた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
こんぶ啓蒙事業	北海道中小企業家同友会産学官連携推進事業 および ろうきん社会貢献助成事業「北海道こんぶフォーラム」					1,339
	こんぶフォーラムin森町	平成21年1月24日	森町	10人	北海道民を対象に220名	602
	こんぶフォーラムin札幌	平成21年3月28日	札幌市	10人	北海道民を対象に92名	576
	セブン-イレブンみどりの基金事業 利尻あるある探検隊事業	平成21年10月4日	利尻町	2人	利尻島在住小学生を対象に、13人	49
こんぶ種苗管理事業	セブン-イレブンみどりの基金事業 種苗管理センター設立	平成20年9月1日	北海道大学内	5人	北海道民を対象に100名	812
	こんぶ種苗採取事業	平成20年10月1日～12月31日	北海道沿岸各地	5人	北海道内漁家、地域環境保全関係者	—
こんぶ活用研究事業	ホソメコンブ陸上養殖支援事業	平成21年1月9日～3月31日	せたな町大成	4人	(株)三和建設を経由して北海道民を対象に300名	111
	お刺身こんぶ試食会事業 (熊石あわびの里フェスティバル)	平成21年5月18日	八雲町熊石区	2人	参加者を対象に100人	18

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

平成20年度会計財産目録

平成21年 3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道こんし研究會

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金北洋銀行本店営業部	124,502	
未収金		
事業未収金	517,934	
流動資産合計	642,436	
2 固定資産		
種苗保管庫	812,000	
固定資産合計	812,000	0
資産合計 (A)		1,454,436
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	153,617	
流動負債合計		153,617
2 固定負債		
なし	0	
固定負債合計		0
負債合計 (B)		153,617
正味財産 (C) = (A) - (B)		1,300,819

平成20年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成21年 3月31日現在

特定非営利活動法人 北海道こんいし研究会

科 目		金 額 (単位:円)	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	現金 現金手許有高	0	
	普通預金北洋銀行本店営業部	124,502	
	未収金	517,934	
	流動資産合計		642,436
2	固定資産		
	種苗保管庫	812,000	
	固定資産合計		812,000
	資産合計 (A)		1,454,436
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	153,617	
	流動負債合計		153,617
2	固定負債		
	なし	0	
	固定負債合計		0
	負債合計 (B)		153,617
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産		26,114
	当期正味財産増加額 (減少額)		1,256,771
	正味財産合計 (C)		1,300,819
	負債及び正味財産合計 (B)+(C)=(A)		1,454,436

平成20年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成21年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会

科 目	金 額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	492,000	492,000	
2 事業・助成金収入			
平成20年度産学官連携推進事業	500,000		
北海道ろうきん社会貢献助成制度	150,000		
セブンイレブンみどりの基金公募助成	812,000	1,462,000	
3 寄付金収入			
	700,914	700,914	
4 雑収入 受取利息			
		856	
経常収入合計 (A)			2,655,770
II 経常支出の部			
1 事業費			
こんぶ啓蒙事業費	1,339,512		
こんぶ種苗管理事業	812,000		
こんぶ活用研究事業	129,504	2,281,016	
2 管理費			
消耗品	139,032		
旅費交通費	116,157		
租税公課	10,000		
通信費	9,340		
支払手数料	1,837	276,366	
経常支出合計 (B)			2,557,382
経常収支差額 (C) = (A) - (B)			98,388
III その他資金収入の部			
	517,934		
IV その他資金支出の部			
	153,617		
その他資金支出合計 (E)			364,317
当期収支差額 (F)=(C)+(D)-(E)			462,705
前期繰越収支差額 (G)	261,114	26,114	26,114
次期繰越収支差額 (F) + (G)			488,819

(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(F)(再掲)	462,705		
こんぷ種苗管理事業(培養庫)	812,000		
2 負債減少額			
増加額合計(H)		1,274,705	
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額	0		
当期収支差額(F)(再掲)(マイナスの場合)	0		
2 負債増加額	0		
減少額合計(I)		0	
当期正味財産増加額(減少額)			1,274,705
(H)-(I)=(J)			
前期繰越正味財産額(K)			26,114
当期正味財産合計(J)+(K)			1,300,819